我が国の港湾における
釣り文化の振興に関する事例集2025

国土交通省 港湾局
海洋・環境課

～ 目 次 ～

国土交通省

所在道県名	港 名	協 議 会 等	指定日	ページ番号
北海道	苫小牧港	苫小牧港海釣り施設協議会	R2.8.3	P1～2
	室蘭港	室蘭港釣り文化振興検討会	R6.8.7	P3～4
	江差港	江差港海釣り利活用等みなとまちづくり準備室	R6.8.7	P5～6
青森県	青森港	青森港釣り利用検討会	H31.3.29	P7～8
秋田県	秋田港	秋田港外港地区北防波堤釣り開放に向けた検討会	H31.3.29	P9～10
福島県	相馬港	新地町海釣り公園協議会	H31.3.29	P11～12
	小名浜港	いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会	H31.3.29	P13～14
千葉県	館山港	館山港UMIプロジェクト検討会みなとアメニティワーキンググループ	R6.8.7	P15～16
新潟県	新潟港	新潟港(東港区)第2東防波堤釣り開放等にかかる連絡会	H31.3.29	P17～18
	直江津港	直江津港第3東防波堤釣り開放等にかかる協議会	H31.3.29	P19～20
静岡県	熱海港	熱海港海釣り施設連絡協議会	H31.3.29	P21～22
	清水港	清水港フィッシングエリア振興協議会	H31.3.29	P23～24
	御前崎港	御前崎みなとまち振興連絡会	R2.8.3	P25～26
高知県	高知港	高知港の利活用等にかかる協議会	H31.3.29	P27～28
山口県	下関港	下関港湾協会	H31.3.29	P29～30
福岡県	北九州港	北九州釣りいこか倶楽部	H31.3.29	P31～32
	芦屋港	芦屋港海釣施設運営協議会	H31.3.29	P33～34
大分県	別府港	別府国際観光港みなとまちづくり協議会	H31.3.29	P35～36
長崎県	青方港	五島楽釣上五島協議会	R2.8.3	P37～38
	比田勝港	上対馬地区海業推進協議会	R6.8.7	P39～40
鹿児島県	志布志港	志布志港の利活用にかかる検討会	R6.8.7	P41～42

港湾における釣り施設に関する事例（苫小牧港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和8年3月末現在	
港湾名	苫小牧港【国際拠点港湾】
協議会等	苫小牧港海釣り施設協議会
対象港湾施設	東港区内防波堤（A）
モデル港指定日	令和2年8月3日
港湾管理者	苫小牧港管理組合
釣り施設管理・運営者	(一社)苫小牧港釣り文化振興協会
施設利用料	高校生以上:1,500円、中学生:1,000円、小学生:500円、駐車場:800円
運営時間	午前6時から午後5時 午前6時から午後4時（10月以降）
安全対策	監視カメラ、救助ボート、縄はしご、救命浮輪、AED、雷検知器、デジタル風速計、防波堤段差にスロープ
利用者数（令和7年度実績）	2,141人（稼働日数：57日）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 救命ボート・救命器具を設置し安全な釣り場として開放。駐車場とトイレ設備、及びライフジャケットの貸し出し等、集客と利用者の満足度の向上を計っています。

・令和元年度、日釣振北海道地区支部から防波堤の開放要望があり。
・協議会で安全対策や管理運営体制を議論し港湾管理者の合意のもと、令和4年度より東港区内防波堤（A）の釣り場開放を開始。

港湾における釣り施設に関する事例（苫小牧港）②

国土交通省

令和7年度の取組報告

■釣り場開放

開放日　：　4月5日から11月3日までの土日・祝日
開放日数　：　57日（開放予定日：71日）
中止日数　：　14日（荒天等）
稼働率　：　80.2%

・荒天による中止が多く、利用者数が昨年度から386人減り2,141人となった。
・これまで、救命胴衣、釣り竿のレンタル、餌・仕掛け等の販売を行っているが、利用者のニーズに合わせ、餌やルアーの販売品目を増やした。
・釣り大会や釣り体験教室などイベント回数を拡大、団体の誘客にも努めた。
・1年を通じ事故や救助艇の出動が無く、「安心・安全な釣り場」をアピールできた。

■釣りイベント実績

8月　親子釣り教室
　　苫小牧港まつり親子釣り大会
　※カムチャツカ沖地震で1週間延期

10月　開放記念釣り大会

■モデル港の事業成果

・事業開放により防波堤に監視員もおり、消波ﾌﾞﾛｯｸ上での危険行為が減少。
・日釣振を中心に近隣企業協力の清掃活動により、防波堤周辺の環境が改善。
・道央及び広域圏からの来客及び、初心者利用もあり、関係人口増加に寄与。
・地元のコンビニや飲食店の利用増による、地域の活性化。

令和8年度以降の取組予定

① 救助訓練・地震避難訓練
② イベント企画
（親子釣り教室、メーカー釣り大会企画）
③ 初心者釣り教室
④ レンタル・販売品の追加検討
（竿・救命胴衣のレンタル、餌・仕掛け等の販売を行っているが、利用者のニーズに合わせ品目の追加を検討する。）
⑤ 地域協力のもと物販の販売
（飲食なども検討）
⑥ 周辺地域の清掃活動

札幌及び地元企業有志約300人が清掃参加

港湾における釣り施設に関する事例（室蘭港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）（https://maps.gsi.go.jp）をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- にぎわい創出取組みエリアの一施設として、みなとオアシス道の駅「みたら室蘭」や水族館などの観光資源と一体となって連携し、まちのにぎわい創出を図る。

室蘭港　祝津絵鞆地区
内防波堤・絵鞆臨海公園ボードウォーク

【基本情報】　令和８年３月末現在	
港湾名	室蘭港【国際拠点港湾】
協議会等	室蘭港釣り文化振興検討会
対象港湾施設(候補地)	祝津絵鞆地区　内防波堤 絵鞆臨海公園ボードウォーク
モデル港指定日	令和６年８月７日
港湾管理者	室蘭市
釣り施設管理・運営者	－
施設利用料	－
運営時間	－
安全対策	－
利用者数（令和６年度実績）	－

- 令和5年度、日釣振北海道地区支部から防波堤の開放要望有。
- 令和6年度、協議会を立ち上げ、安全対策や管理運営体制等を協議。
- 令和7年度、3回の試験実釣を実施。
- 令和8年度に試験的な一般開放、令和9年度の事業開始を目指している。

港湾における釣り施設に関する事例（室蘭港）②

国土交通省

令和7年度の取組報告

■試験実釣（全3回）の実施
釣り場としての適正性を判断するため、
令和7年5月、7月、9月に試験実釣を実施
各回の釣果は以下のとおり

実施日	時間	人数	釣果
5月27日	6:00~12:00	10人	内防波堤：アブラコ27匹、ガヤ1匹、マツカワカレイ1匹 ボードウォーク：カジカ2匹
7月22日	6:00~12:00	7人	内防波堤：ガヤ22匹、アブラコ16匹、マフグ9匹、ソイ4匹、サバ3匹、アイナメ1匹 ボードウォーク：マフグ4匹
9月29日	6:00~12:00	8人	内防波堤：アブラコ13匹、サバ12匹、フグ9匹、ガヤ3匹、ガラ2匹、イワシ1匹

令和7年度試験実釣

令和8年度以降の取組予定

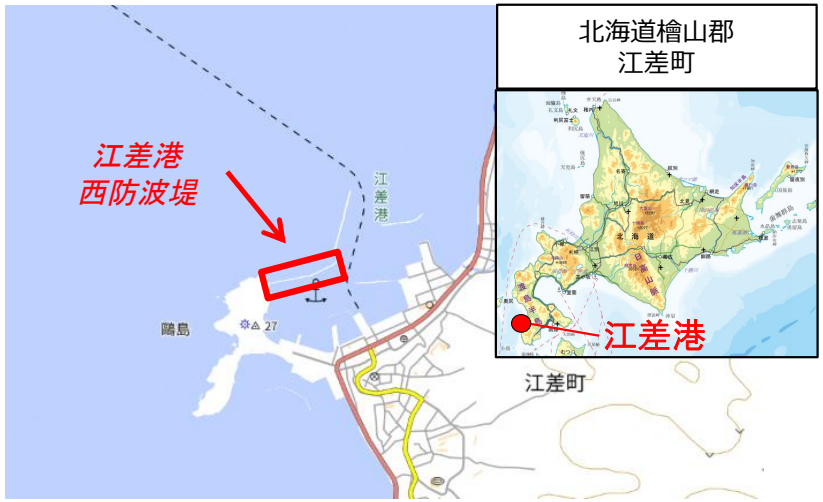
○試験実釣の継続実施
・季節ごとに釣果を調査し、
　釣り場としての適正化の判断をする。
・安全性等の課題を確認。

○試験的な一般開放の実施
・安全性等の課題を確認。

○運営・安全体制等の整備
・上記課題整理や既存海域利用者との
　調整、釣り文化振興検討会開催に
　より必要な資材を含めた各種体制を
　整備する。

港湾における釣り施設に関する事例（江差港）①

国土交通省



国土地理院地図（電子国土Web）（https://maps.gsi.go.jp）をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和８年３月末現在	
港湾名	江差港【地方港湾】
協議会等	江差MINATOプロジェクト検討会
対象港湾施設	西防波堤
モデル港指定日	令和6年8月7日
港湾管理者	江差町
釣り施設管理・運営者	－
施設利用料	－
運営時間	－
安全対策	－
利用者数 （令和7年度実績）	－

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 周辺には、江差町のシンボルで観光スポット「かもめ島」がある。釣り文化の振興により、マリンレジャーやマリンピングなどと一体となり江差港の賑わいの創出、地域活性化に期待される。

- 令和6年度、日釣振北海道地区支部から防波堤の開放提案あり。
- 検討会で安全対策等の協議や釣り利用者のマナー徹底など周知をふまえ、令和9年度より釣り場開放に向けて準備協議中。

港湾における釣り施設に関する事例（江差港）②

国土交通省

令和7年度の取組報告

◆「みなと」を核とした地域の賑わいを創出するため、
「江差MINATOプロジェクト検討会」を設立（1月26日）

【設立目的】
・江差港を観光資源として活用し、既存防波堤等を安全に利用できるよう整備する等の活動により、地域における釣り文化を振興し、地域創生・地域活性化を図る

■釣りイベント実績

9月27日　釣り体験会開催（20名参加）
※天候状況により、別場所で変更実施

・地元釣り団体会員内で実施
・さびき釣り体験
・釣った魚を町内集会施設で調理、試食

令和8年度以降の取組予定

検討会の協議結果をふまえ取組予定

（1）「みなとオアシス」に関する各分野との連携促進及び広報・啓発活動の推進

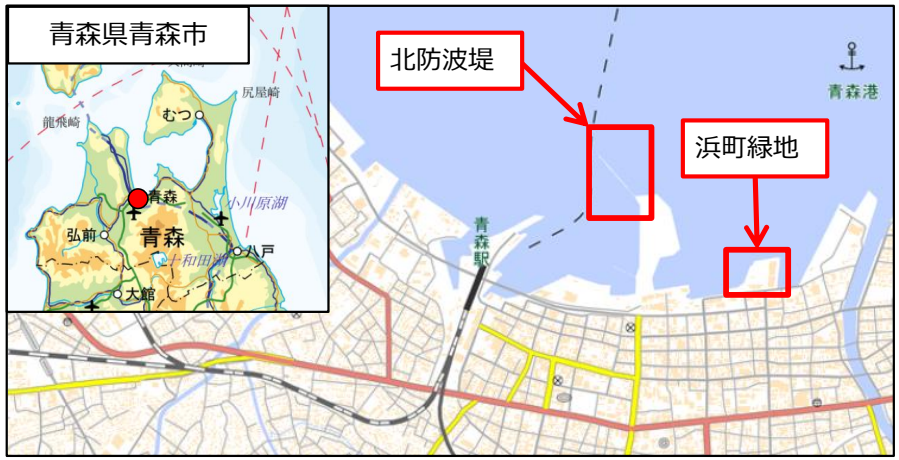
①各種交流イベントの開催
②釣り情報の効果的な発信
③地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流促進

（2）江差港を活用した安全安心の釣り環境等の整備促進

①釣り場の安全確保対策
②釣り客の安全対策
③釣りマナーの普及啓発

港湾における釣り施設に関する事例（青森港）①

国土交通省



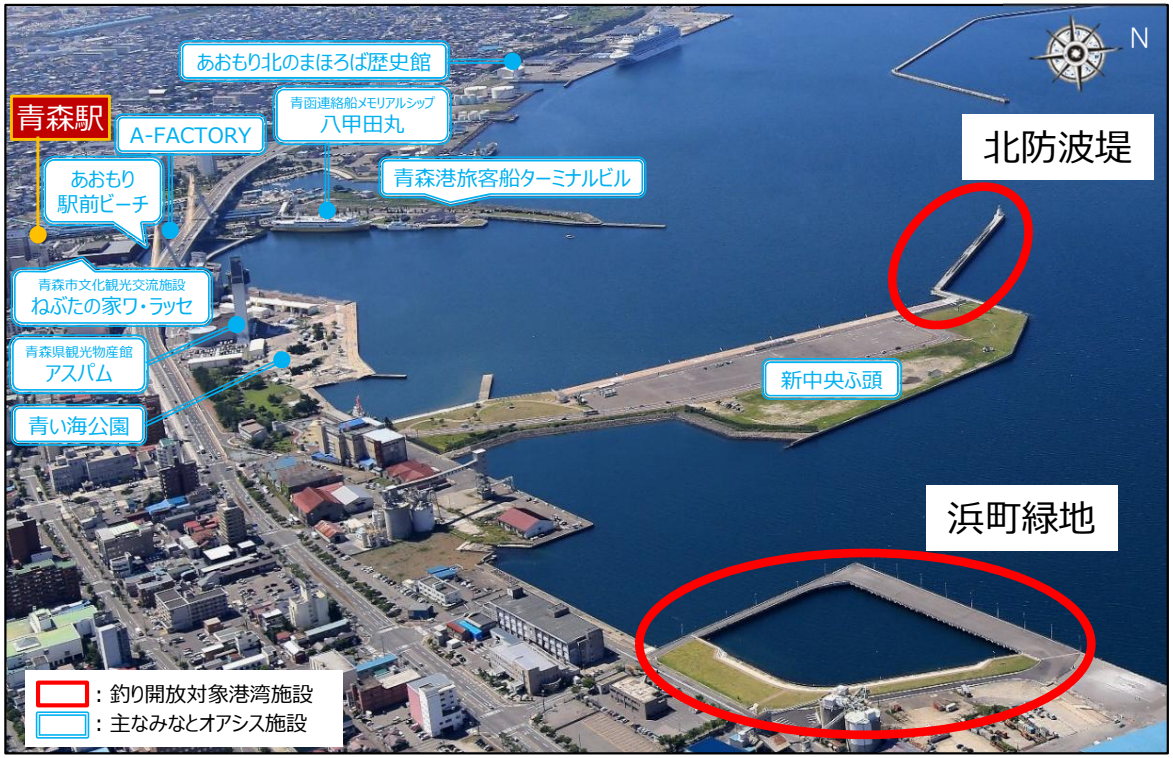
国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	青森港
協議会等	青森港釣り利用検討会
対象港湾施設	・浜町緑地（開放日限定） ・北防波堤（開放日限定）
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	青森県
釣り施設管理・運営者	青森港の未来を考える会
施設利用料	無料
運営時間	8時～17時(開放日毎に設定)
安全対策	・救命浮環 ・タラップ ・転落防止柵 ・見回り　等
利用者数（令和6年度実績）	19人（稼働日数：１日）※

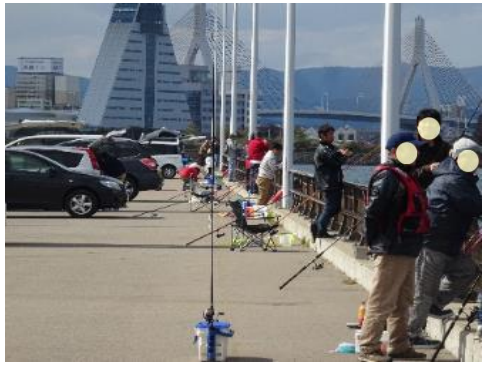
※令和3～4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
※令和5年度は、長引くコロナの影響等によりやむを得ず開催を断念

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 救命浮環や転落防止柵等の安全対策が常設されており、安全に釣りを行うことができる。



- 平成27年2月に策定された「青森港ビジョン」の基本戦略に「市民が身近に海とふれあえる自然豊かな空間の形成」として、「浜町緑地の釣り利用」を掲げ、取組を進めている。
- 検討会で安全対策や管理運営体制を検討し、平成30年度より釣り場開放を開始。



▲釣り限定開放(令和2年10月18日)浜町緑地

港湾における釣り施設に関する事例（青森港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

- 令和6年5月25日(土)、日本釣振興会青森県支部による「アジングセミナー（担当：株式会社34）」を開催。
- 座学と実釣の2部構成としたことにより、初心者でもすぐに実践に入れるよう工夫を取り入れた。

▲【R6】座学の様子※1

▲【R6】キャスティングのアドバイスの様子※1

▲【R6】いざ実釣開始！！※1

- 公益財団法人日本釣振興会が令和6年11月5日に浜町緑地にて稚魚の放流イベントを実施し、キツネメバル（マゾイ）の稚魚2,914尾を海に放流した。

▲【R6】キツネメバル放流の様子※2

▲【R6】稚魚の放流　集合写真※2

放流実績

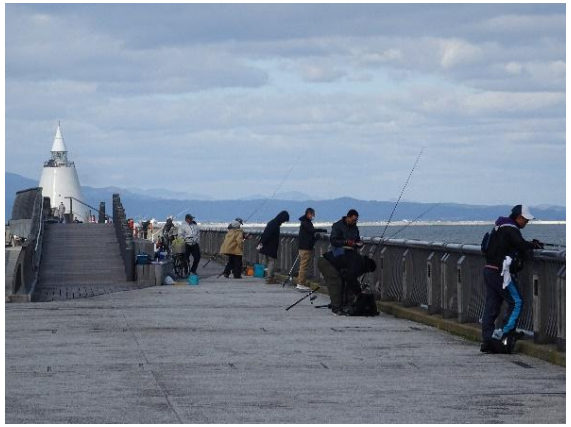
年　度	放　流　魚	数　量
令和元年	アイナメ	2,134尾
令和2年	アイナメ	2,324尾
令和3年	－	－

年　度	放　流　魚	数　量
令和4年	アイナメ	2,000尾
令和5年	キツネメバル	1,750尾
令和6年	キツネメバル	2,914尾

令和7年度以降の取組予定

- 現時点で開催頻度等は未定であるが、コロナ禍以前のように、浜町緑地・北防波堤の両施設開放に向け引き続き検討を行う。
- 時期は未定であるが、稚魚の放流イベントを実施予定。

▲浜町緑地の釣り開放(令和元年)

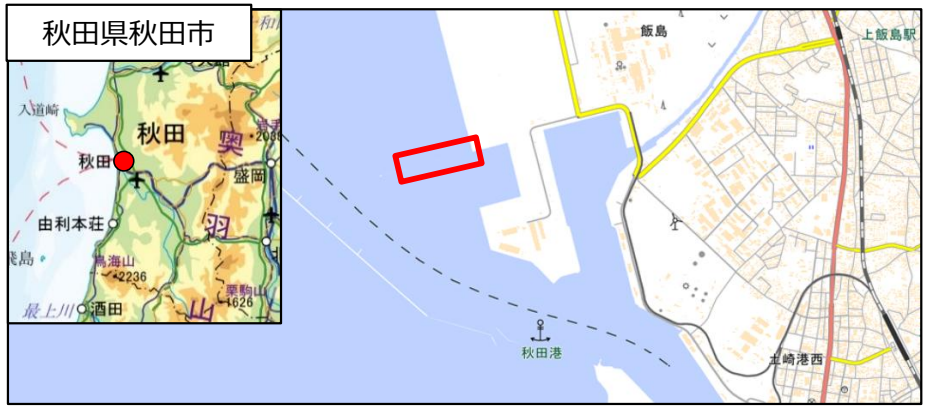


▲北防波堤の釣り開放(令和元年)

※1：株式会社34HPより引用　※2：公益財団法人日本釣振興会HPより引用

港湾における釣り施設に関する事例（秋田港）①

国土交通省



国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	秋田港【重要港湾】
協議会等	秋田港外港地区北防波堤 釣り開放に向けた検討会
対象港湾施設	外港地区　北防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	秋田県
釣り施設管理・運営者	（一社）秋田港有効利活用協会
施設利用料	大人、高校生：1,500円 中学生　　：　600円 小学生　　：　400円
運営時間	・4月～11月の土日祝祭日 ・5～9月：6:00～18:00 ・4月、10～11月：7:00～16:00
安全対策	・救命浮環、救助艇、AED ・案内板、危険表示ライン ・監視員の常駐　等
利用者数（令和6年度実績）	6,493人（稼働日数：62日）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 地域の子供達を対象とした 釣り教室やマダイの稚魚放流イベントなどを実施し、地域の活性化に取り組んでいる。

- 立入禁止であったが、釣り場としての開放を求める声が多く寄せられていた。
- 平成30年2月から安全対策等の検討が進められ、安全安心な管理・運営のもと、本格開放を令和2年8月より開始した。

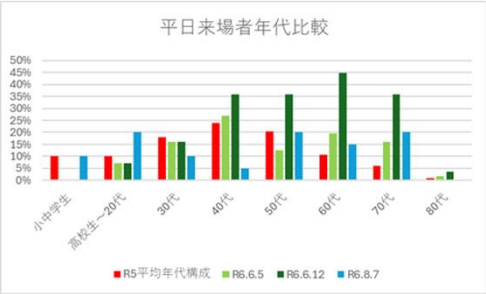
開放の様子（令和3年10月9日）

港湾における釣り施設に関する事例（秋田港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

①平日開放の試行



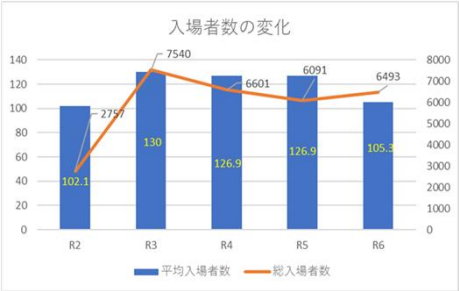
※R5年齢平均（赤棒）との比較
・40代以上の高齢者が多い
・8月（青棒）は若者も来場

※来場者数
・R5年日平均入場者数126人と比較（採算性）
・３日間（56人、36人、20人）ともR5の半分以下の入場者数
※結論：平日開放の実施は当面見合わせる

②夜間開放の試行

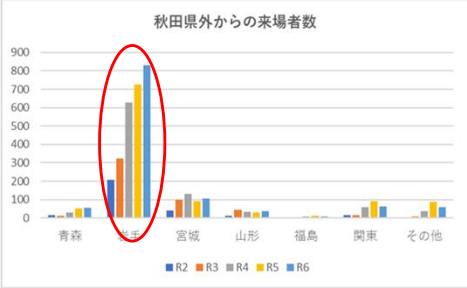
※視認性確認
・晴天、視界良好の条件下であっても、距離を置いて監視員が釣り人を視認し安全確認を行う事は困難
・落水者が出た場合落水者の位置を把握し続けるのは困難
※結論：安全性確保困難の為実施しない

①来場者動向（人数）



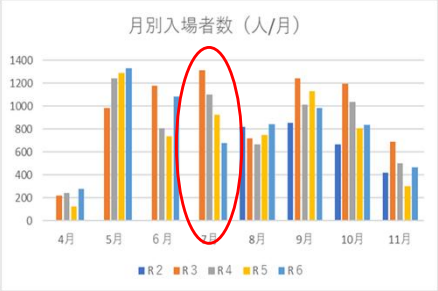
※R6総入場者数：6,493人/62日
・日当り平均入場者数が105人と過去の平均127～130人と比較しかなり減少傾向
・入場料等を約20%値上げ

②来場者動向（地域）



※例年同様岩手県からの来場者の増加傾向が確認できる（全入場者の10数%）

③来場者動向（季節）



※７月の減少傾向が顕著となって来ている、ただ、８月は開放当初から入場者が少ない傾向にある

◎R6の反省点
計画していた釣り教室、クルーズ客等誘致、釣り＆食事のイベントに着手出来なかった。

釣れる魚種の変化

○日本海の海水温上昇の影響？
・秋田港港内の海水温が高く、**釣れる魚種や数、大きさ等が変化してきており今年はそれが顕著**
※R6の具体な傾向（感覚）
・黒鯛の魚体数の減少
・小アジ群の減少、形の大型化
・コウイカ、アオリイカ個体数減
・イナダ、サゴシ等青物の数減
○R7も魚種・数・大きさ等注視

令和7年度以降の取組予定

①入場料・パスポート等価格改定
・R7人件費や他経費増加を想定し**入場料等の価格改定を予定**
②地域振興の取り組み（地元と共同企画）R6未着手の以下２案の実現に向け継続調整を進める
・クルーズ客の「釣りと食イベント」実施を目指し調整を進める
・来場者が釣った魚の地元飲食店での飲食実施企画を継続協議
③施設機能向上に向けて
・クラウドファンディングによる管理棟脇への上水道敷設に挑戦

港湾における釣り施設に関する事例（相馬港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	相馬港
協議会等	新地町海釣り公園協議会
対象港湾施設	・相馬港５号ふ頭防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	福島県
釣り施設管理・運営者	新地町観光協会
施設利用料	高校生以上 1,200円／人、 小・中学生 700円／人　※半日
運営時間	・4月～10月： （午前）6時～正午 （午後）正午～18時 ・11月～3月： （平日）9時～14時 （土日祝・午前）6時30分～11時30分 （土日祝・午後）11時30分～16時30分
安全対策	安全柵設置、ライフジャケット無料貸出、救命ボード・救命浮き輪設置
利用者数（令和6年度実績）	10,281人（稼働日数：262日）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- みなとオアシス内に位置し相馬港の賑わい創出に寄与。
- 東日本大震災で失われた海の観光資源の復活、地域活性化などを目指し、関係者一丸となって運営。

- 平成21年4月、市民等からの要請もあり、海の観光資源を活用し、町の活性化を図るため、新地町が整備し一般に開放。
- 東日本大震災で被災し、平成31年4月に8年ぶりに再開。
- 令和３年２月、令和４年３月の福島県沖地震で再び被害を受け休園、令和5年4月に再開。

釣り客でにぎわう様子

港湾における釣り施設に関する事例（相馬港）②

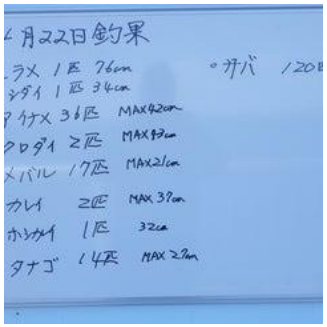
国土交通省

令和6年度の取組報告

○集客力アップのため、大物大賞、レディース・シルバー・ファミリー・グループ釣り大会など、ほぼ毎月様々なイベントを開催し、上位入賞者には無料券や割引券、ポイントなどをプレゼント。
利用者が減少する冬期間は、お客様感謝期間としてポイントを5倍に。
イベント開催とポイント付与は利用者から好評だった。

○しんちの魅力体感発信事業として、海釣り公園釣り教室を開催。
仙台方面から３０人が参加し海釣りを満喫した。

○ＳＮＳ等での情報発信
町ホームページのほか、町観光協会インスタグラム、海釣り公園ブログで開設状況や釣果情報を掲載。海釣り公園 Ｘ（エックス）ではリアルタイムで釣果情報などを写真で紹介。



※写真提供：新地町

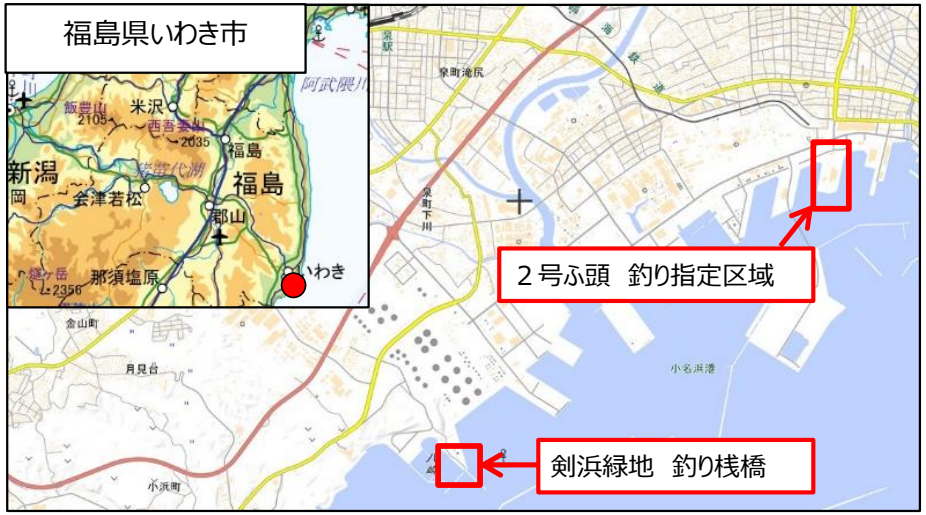
令和7年度以降の取組予定

○令和７年度以降も施設の安全管理に努め、より多くの方々に釣りを楽しんでいただき、ふくしまの海を観光資源としてアピールしていく。

○釣り大会の開催
○釣り教室の開催
○お魚さばき講習会
○ＳＮＳ等での情報発信

港湾における釣り施設に関する事例（小名浜港）①

国土交通省



国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	小名浜港―
協議会等	いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会
対象港湾施設	・２号ふ頭　釣り指定区域 ・剣浜緑地　釣り桟橋
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	福島県
釣り施設管理・運営者	福島県
施設利用料	無料
運営時間	・２号ふ頭：制限なし ・剣浜緑地：８：30～17：30 （夏・冬期は閉門時刻が１時間前後）
安全対策	安全柵、救命浮き輪の設置
利用者数（令和6年度実績）	―

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- みなとオアシス内に位置し小名浜港の賑わい創出に寄与。
- コロナ前には「小名浜港釣り大会」を開催し、地域活性化に貢献。

アクアマリンふくしま

いわきサンマリーナ

※写真提供：福島県

- 平成４年より「剣浜緑地釣り桟橋」、平成10年より「２号ふ頭釣り指定区域」を開放。
- 地元まちづくり団体、県、市等で構成された「いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会」が主体となり、釣り文化振興の取り組みが進められている。

H31.9 釣り大会

港湾における釣り施設に関する事例（小名浜港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

■釣り指定区域の開放

対象港湾施設である「２号ふ頭・釣り指定区域」及び「剣浜緑地・釣り桟橋」において、引き続き、無料開放を行った。

■インスタグラムイベント「いわき小名浜みなとオアシス釣り大会」の開催

釣り指定エリアの周知などを目的に、イベントを開催した。

・内容：インスタグラムに、令和６年度中に指定エリアで釣れた魚と風景が一緒に写った写真を「#いわき小名浜みなとオアシス」と付けて投稿してもらい、入賞者に賞品を贈呈するもの。

・投稿期限：令和７年１月末まで

■釣りに関するアンケートの実施

釣り指定エリアの利用状況や釣り場のニーズ等を確認するため、民間団体主催の釣りイベントにてシールアンケートを実施した。

・日時：令和６年７月21日(日)　午前８時30分から９時00分

■小名浜港大剣防波堤における釣り場の可能性検討に係る調査の実施

安全性・水深・釣果・避難時間等の基礎データを収集することを目的に、釣果調査を実施した。

・日時：令和６年10月29日(火)　午前８時30分から12時30分

・場所：小名浜港大剣防波堤

・主催：いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会

・協力：(公財)日本釣振興会、Ａ家釣り部海活実行委員会　計10名

■先進地視察の実施

釣り文化振興モデル港としての今後の展開や賑わい創出の参考とするため、いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会による先進地視察を実施した。

①熱海港海釣り施設（日程：令和６年８月21日(水)　参加者：事務局３名）

②新地町海釣り公園（日程：令和６年12月６日(金)　参加者：会員６名、事務局２名）

■いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会の実施、出張講演の実施

先進事例等を参考に、効果的な事業展開や運営のあり方等について意見交換を行った。

（日程：令和６年７月11日(木)、11月22日(金)　参加者：会員６名、事務局３名）

また、小名浜まちづくり市民会議11月全体会議において、出張講演を実施した。

（日程：令和６年11月26日(火)　参加者：市民会議会員約30名、事務局２名）

令和7年度以降の取組予定

○いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会の実施

・先進事例等を参考に、効果的な事業展開や運営のあり方について検討を進める。

○釣果調査等の実施

・より釣果が期待できる釣り場候補の基礎情報を収集する。

・想定される危険要因等を抽出し港湾利用への影響等についても整理する。

○先進地視察の実施

・先進的な取組みや成功事例を学び、今後の参考とする。

○釣りイベントの企画

・交流人口の拡大や地域活性化、釣り客のマナー向上や釣り場開放等のニーズ把握を目的に、釣りイベントを企画する。

・釣りイベントでは、啓発用チラシの配布やアンケート等を実施予定。

２号ふ頭
釣り指定区域
▼

剣浜緑地
釣り桟橋
▼

港湾における釣り施設に関する事例（館山港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）（https://maps.gsi.go.jp）をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 多目的桟橋は近隣に駐車場、公衆トイレもあり、1年を通じて色々な魚を狙うことができる初心者にもオススメな釣り場。
- 多目的桟橋は桟橋形式としては日本一長い桟橋で、海岸通りから500mの長さがあり、沖の船釣りのようなポイントに至るまで歩道を通って安全に移動できます。
- 2号防波堤は東京湾屈指の釣り場としてのポテンシャルを持っており、釣り場開放に向けた検討を進めています。

【基本情報】令和８年３月末現在	
港湾名	館山港【地方港湾】
協議会等	館山港UMIプロジェクト検討会 みなとアメニティワーキンググループ
対象港湾施設	多目的桟橋、２号防波堤
モデル港指定日	令和６年８月７日
港湾管理者	千葉県
釣り施設管理・運営者	（多目的桟橋）管理者：千葉県 運営者：館山市 （２号防波堤）管理者：千葉県 運営者：－
施設利用料	（多目的桟橋）無料 （２号防波堤）－
運営時間	（多目的桟橋）制限なし （２号防波堤）－
安全対策	（多目的桟橋）安全柵、浮環 （２号防波堤）－
利用者数（令和６年度実績）	（多目的桟橋）－ （２号防波堤）－

・令和4年に館山港UMIプロジェクト検討会が発足し、同検討会みなとアメニティWGで釣り場活用を協議。令和7年度は多目的桟橋のマナーアップ、エリア拡大等を検討。2号防波堤は安全対策や管理運営体制等を検討。令和8年度以降の釣り場開放を目指している。

港湾における釣り施設に関する事例（館山港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

- 試し釣り
  実施日　6月22日(土)
  参加人数　39名
  2号防波堤における試し釣りを実施し、防波堤周辺施設、釣り方や釣れる魚類の調査を行った。

- 指定証交付式
  実施日　9月21日(土)
  関東地方初となる「釣り文化振興モデル港」の指定証交付式を多目的桟橋（館山夕日桟橋）にて開催した。

令和7年度以降の取組予定

- 釣り場の安全確認
- 漁業従事者・港湾利用者との協議
- ルール・マナーの啓発
- 試し釣り
- 施設周辺水中部の調査・清掃
- 地元の警察・消防を交えた落水事故への対応確認
- 2号防波堤開放に向けた検討及び関係機関との調整
- 管理運営体制の検討
- 釣り大会・釣り教室等の実施
- 館山港UMIプロジェクト検討会の他WG（ブルーカーボンWG、「みなとオアシス」の活性化WG）との連携・協働による釣りを通じた地方創生への貢献活動

港湾における釣り施設に関する事例（新潟港）①

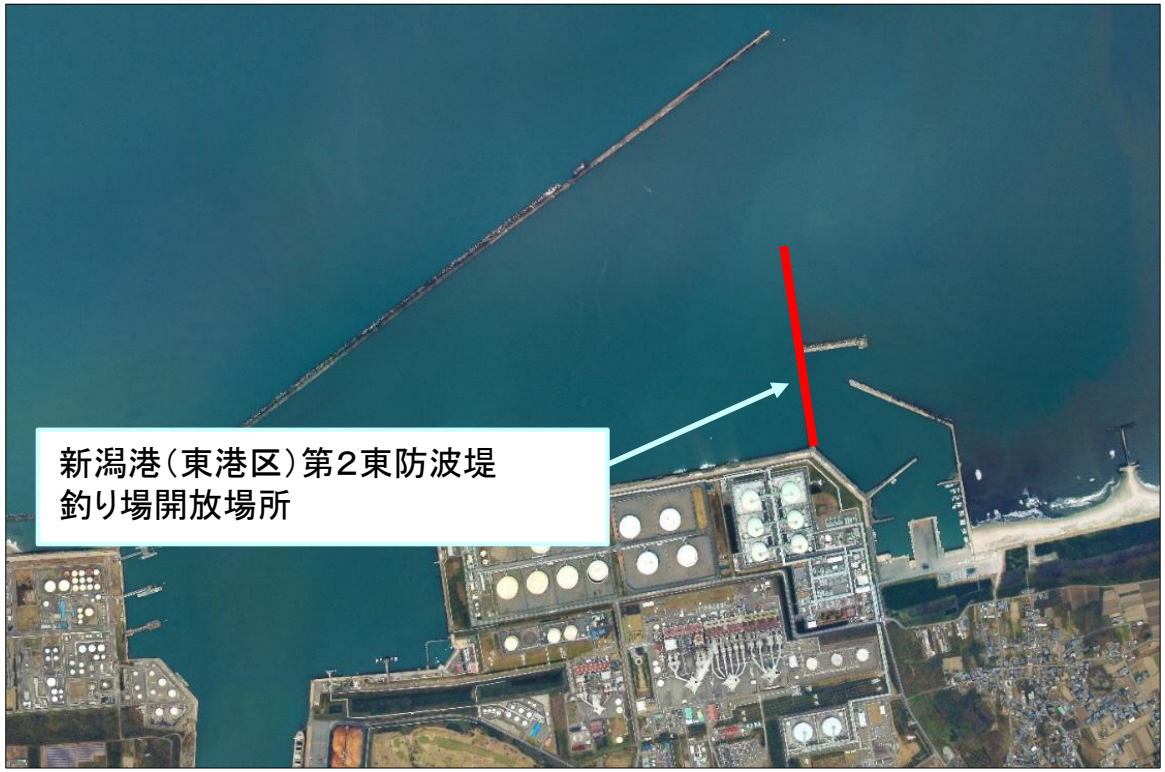
国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和７年３月末現在	
港湾名	新潟港
協議会等	新潟港（東港区）第２東防波堤 釣り開放等にかかる連絡会
対象港湾施設	・東港区　第２東防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	新潟県
釣り施設管理・運営者	NPO法人ハッピーフィッシング
施設利用料	1,500円
運営時間	日の出～日の入
安全対策	・救命浮環21基 ・上陸用縄梯子　等
利用者数（令和6年度実績）	13,779人（稼働日数：192日）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 「みなとオアシス聖籠」の施設として位置付けられた施設



- 平成21年　釣り問題研究会（弁護士、釣振興会、荷役業者等）を設置
- 平成21年9月報告書
- 平成22年　2回の試験開放を実施
- 平成23年6月3日　開放

港湾における釣り施設に関する事例（新潟港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

開放期間　2024年3月8日～10月31日（237日間）

○開放日数（単位：日）

区分	開放	部分開放	終日閉鎖	計
日数	170	22	45	237

開放割合　81．0%

○利用人数（単位：人）

区分	大人	高校生	中学生	小学生	計
人数	12,786	67	160	766	13,779

開放1日あたり平均　71．8人

○利用者数（県内外別）（単位：人）

区分	県内	県外	計
人数	8,893	4,886	13,779

県外者割合　35．5%

○地元地域との連携

釣り場特別回数券が、聖籠町のふるさと納税返礼品となっている。

令和7年度以降の取組予定

○開放予定

2025年3月1日～10月31日

○安全性の確保

・能登半島地震での津波を踏まえた避難対策の見直し

・安全設備のチェックとメンテナンスの徹底

・入場者のライフジャケット着用の徹底

・入場者の落水防止対策の強化

・救助、避難訓練の実施

等

○釣り人への情報提供の充実

○来場の際の快適性と利便性の向上

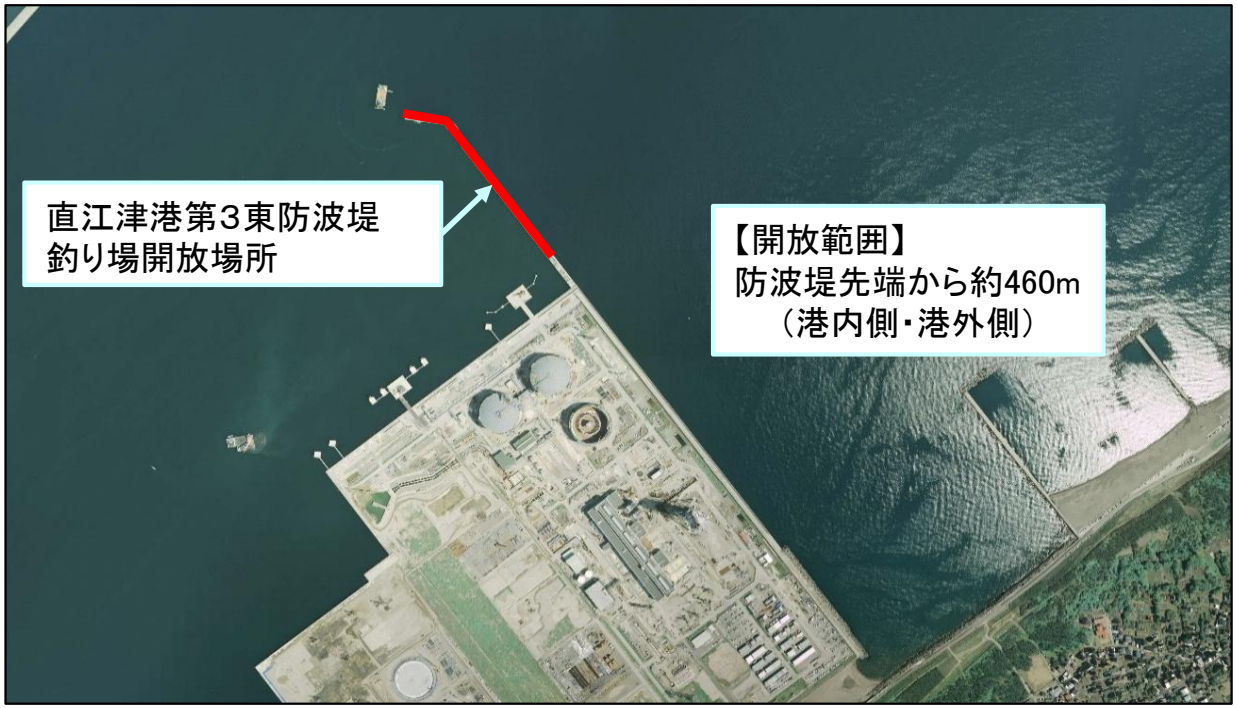
港湾における釣り施設に関する事例（直江津港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 交通アクセスがよく、県外からの利用者多数
  （利用者数19,734人に対し、県外者割合が77．4%を占める）



【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	直江津港
協議会等	直江津港第３東防波堤釣り開放等にかかる協議会
対象港湾施設	・直江津地区　第３東防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	新潟県
釣り施設管理・運営者	NPO法人ハッピーフィッシング
施設利用料	1,500円
運営時間	日の出～日の入
安全対策	・救命浮環36基 ・上陸用縄梯子　等
利用者数（令和6年度実績）	19,734人（稼働日数：150日）

- 地元から釣り場開放を求める動きが従来よりあり、関係者と検討
- 平成27年に試験開放を実施（10月9日～18日）
- 平成28年7月12日から本開放

港湾における釣り施設に関する事例（直江津港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

開放期間　2024年3月8日～10月31日（237日間）

○開放日数（単位：日）

区分	開放	部分開放	終日閉鎖	計
日数	102	48	87	237

開放割合　63．3%

○利用者数（単位：人）

区分	大人	高校生	中学生	小学生	計
人数	18,636	115	238	745	19,734

開放1日当たり平均　131．6人

○利用者数（県内外別）（単位：人）

区分	県内	県外	計
人数	4，460	15，274	19，734

県外者割合　77．4%　当該施設への来場者の多くが県外からであるため、閉鎖情報発信の迅速化に努めている。

○地元地域との連携

地元飲食店と連携し、防波堤で釣った魚を持ち込んで調理してもらえるサービスを実施。

令和7年度以降の取組予定

○開放予定

2025年3月1日～10月31日

○入場者へルール・マナー順守の徹底

○安全性の確保

・能登半島地震での津波を踏まえた避難対策の見直し

・閉鎖基準の順守の徹底

・入場者のライフジャケット着用の徹底

・安全設備のチェックとメンテナンスの徹底

等

○釣り人への情報提供の充実

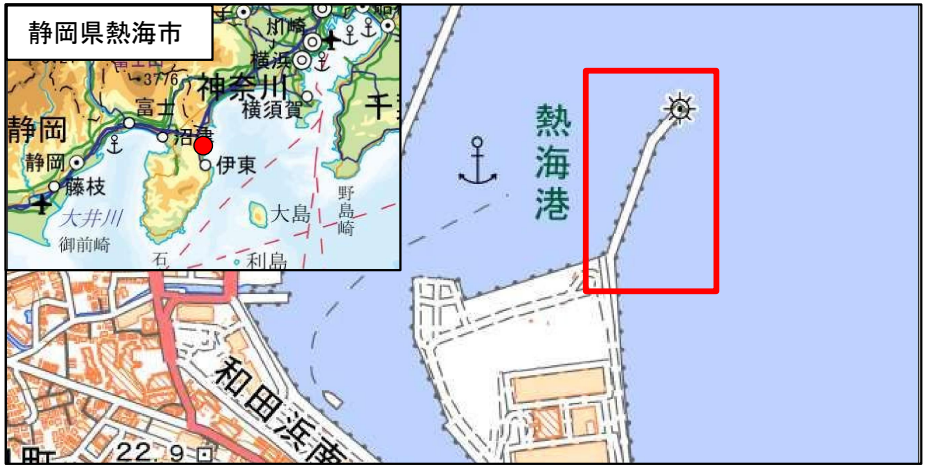
○来場の際の快適性と利便性の向上

・インターネットによる入場券販売

（県外利用者も多いことから、事前に入場券をネット販売し、前日から入場を待つ待機車列を減少）

港湾における釣り施設に関する事例（熱海港）①

国土交通省

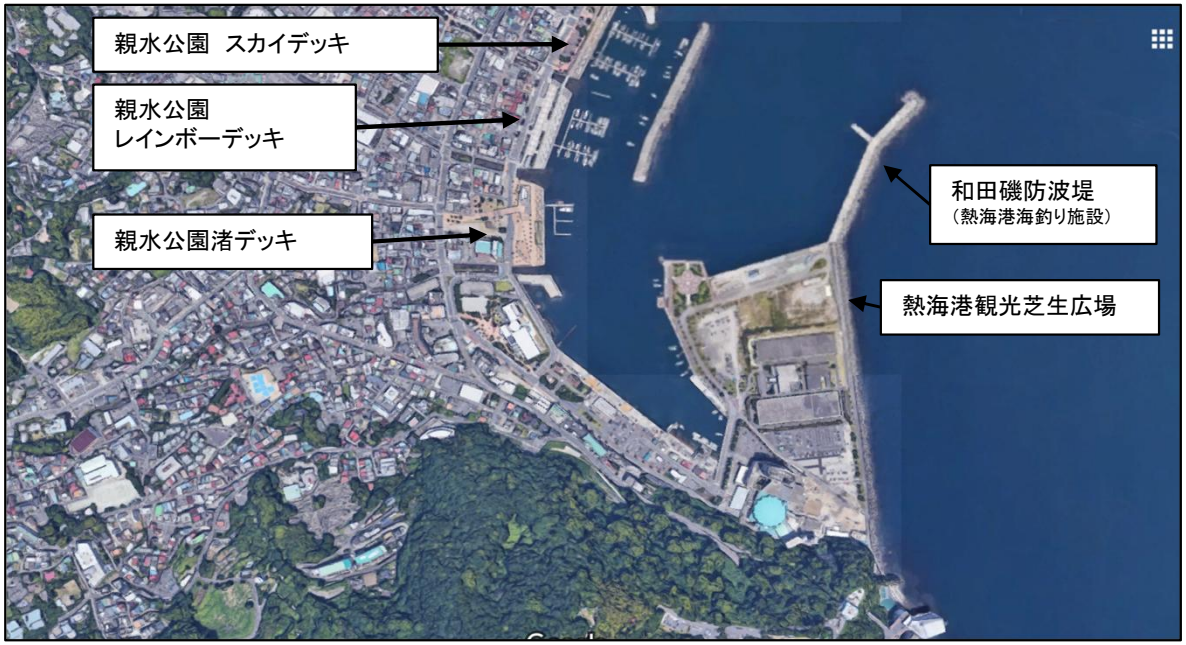


国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和８年3月末時点	
港湾名	熱海港
協議会等	熱海港海釣り施設連絡協議会
対象港湾施設	和田磯防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	静岡県
釣り施設管理・運営者	熱海市・NPO法人SEA WEB
施設利用料	大人500円（見学300円） 子供300円（見学100円） 回数券あり
運営時間	4/1～10/31　午前6時～午後7時 11/1～3/31　午前7時～午後5時
安全対策	・タラップ5基・救命浮輪10基 ・転落防止柵・釣台転落防止柵 ・雷検知器・風向風速計等 ・ライフジャケット無料貸し出し
利用者数（令和6年度実績）	22,772人（稼働日数315日）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 首都圏からのアクセスも良く、目の前にはマリーナや熱海市街地・山並みが一望できる素晴らしいロケーションで釣りが楽しめる。
- 初心者や女性・家族連れも安心して楽しめる海釣り施設。



- 平成14年の熱海港防波堤での水難事故の教訓を活かし、港湾施設の開放と安全管理体制の充実を図るためH16~17年度にて、熱海市・静岡県で安全施設を整備。
- 関係機関にて安全対策や地域振興等を協議し、平成18年に海釣り施設として施設開放を開始。

港湾における釣り施設に関する事例（熱海港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

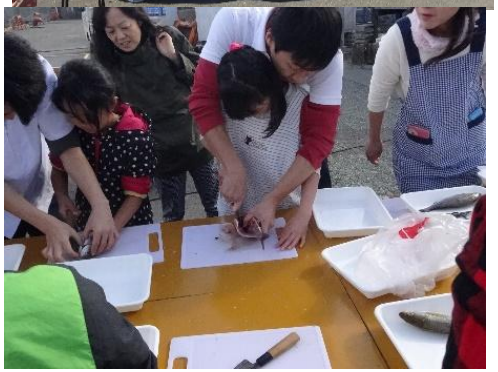
- 来場者の安全確保の観点から、海上での転落者救出訓練を下田海上保安部・熱海警察署・熱海消防・地元漁協等の関係者と実施するとともに、あわせて津波避難訓練を実施した。（良かった点としては、実際に転落者の救助や津波避難放送を実施することで、スタッフの防災意識向上と関係機関との関係強化が図られた。）
- 釣った魚をその場で食する取り組みを、地元の飲食店と締結するとともに「マリンスパあたみ」という温水プールをはじめとする健康増進施設と引続き連携し、施設内での浜焼きや海釣り施設利用者の入場料割引を実施した。（良かった点としては、利用者のニーズに応えることが出来たこと。また、昨年の反省点として、PR方法がHPや施設のチラシのみであり、発信力が低かったことから、ユーチューバー等の撮影を積極的に許可して認知度を高める取り組みを実施した。）
- 日釣振の協力を得て、海釣り施設の海中清掃を実施し、釣り場の環境を整備した。（良かった点としては、釣り人の前で清掃を実施することでマナー等の意識向上が図れた。）
- 釣り具メーカーと協働で子供を対象にした釣り教室を実施し、釣り文化のすそ野の拡大とマナー等の啓発に努めた。
- テレビの取材や番組収録を受入れることで、海釣り施設の認知度向上を図った。

転落救助訓練

釣り教室の様子

令和7年度以降の取組予定

- 地元観光団体と協働し例年11月上旬に開催される「おさかなフェスティバル」への参加。（釣り大会の開催）



おさかなフェスティバルの様子

- 釣り具メーカーと協働した子供向け釣り教室の開催
- 初心者を対象とした、マンツーマンの釣り指導
- 児童養護施設の子供たちを招待し釣り教室開催

港湾における釣り施設に関する事例（清水港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年3月末時点	
港湾名	清水港【国際拠点港湾】
協議会等	清水フィッシングエリア振興協議会
対象港湾施設	・日の出岸壁 ・新興津地区清水港海づり公園（R7d供用開始予定）
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	静岡県
釣り施設管理・運営者	－
施設利用料	無料
運営時間	開放日の8:00～15:00
安全対策	安全監視船 救命胴衣着用 救命浮環 人数制限（R6d 100名迄）　等
利用者数（令和6年度績）	1,033人（稼働日数：5日）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 清水港のSOLAS区域を開放し、世界遺産の富士山を背景に水辺の憩い場として釣り開放を実施。

- 東日本大震災により被災した東電福島第一原子力発電所に譲渡した、海づり公園の代替事業
- 安全対策や管理運営体制を検討、港湾管理者合意のもと平成23年度より日の出岸壁の釣り場開放を開始。

港湾における釣り施設に関する事例（清水港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

■釣り開放【日の出岸壁】

【実施

令和　６　年　５月　１９日（日）：１８５人
令和　６　年　６月　１５日（土）：２１８人
令和　６　年　９月　　８日（日）：１２５人
令和　６　年　１０月　１２日（土）：１６８人
令和　６　年　１１月　１７日（日）：３３７人

全５回開催 １，０３３人 参加

○安全監視員の配置、安全監視船の運航
○レンタル：救命胴衣（無料）、竿（１，０００円：仕掛け・エサ付）
○釣り開放との連携として、稚魚の放流、海上保安庁による安全講習会、岸壁清掃(釣りマナー向上の啓蒙活動として)を実施。
○外国客船の入港が再開され、クルーズ船寄港数は過去最高を更新。日曜日開催のみでは日程調整が難しく、土曜日開催も実施した。

解放エリアのゾーニング

釣りの様子

令和7年度以降の取組予定

■釣り開放【日の出岸壁】

・令和７年度以降においても、昨年度同様の回数及び内容を予定している。
（５月、６月、９月、１０月、１１月の５回を予定。）

・令和７年度はクルーズ船寄港数が本年度より増加するとともに、大型クルーズ船２隻同時着岸が可能となるため、原則は日曜日開催であるが、曜日の変更や、中止とする場合も想定している。

港湾における釣り施設に関する事例（御前崎港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年3月末現在	
港湾名	御前崎港
協議会等	御前崎みなとまち振興連絡会
対象港湾施設	・西ふ頭官庁船溜まり（開放日未定） ・東ふ頭（開放日未定）
モデル港指定日	令和2年8月3日
港湾管理者	静岡県
釣り施設管理･運営者	－
施設利用料	－
運営時間	－
安全対策	･安全監視船 ･救命胴衣着用 ･救命浮環　等
利用者数（令和6年度実績）	7人（稼働日数：1日）

※　開放検討中

＜釣り文化振興モデル港としての特色･アピールポイント＞

- 御前崎港は、駿河湾に突き出た地形で、年中通して、様々な魚を狙うことができる。

- 釣果を期待できる場所での釣り場開放の要望があったことから、連絡会において、一時的にふ頭を開放し、釣り開放イベントを開催。

港湾における釣り施設に関する事例（御前崎港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

- 令和6年10月26日（土）、御前崎みなとまち振興連絡会（事務局：御前崎市）の主催による「御前崎港釣り開放イベント」を開催。
- 今年度で3回目の開催で、普段は荷役作業のため閉鎖されている中央ふ頭1・2号岸壁で自由に釣りを楽しんでいただく「釣り開放イベント」を開催し、家族連れなど7名が参加。
- 二日前からの天候の崩れや当日の風速の悪状況もあり、参加客足は良くなかった。釣果としては、サビキ釣りでアジが釣れ、その他にはカサゴが釣れた。参加者全体で100匹を超える魚を釣ることができ、参加した方々は笑顔で帰宅された。
- 御前崎港は、令和2年8月に国土交通省の「釣り文化振興モデル港」に指定され、地域の関係者により地方創生を目的とした釣り文化振興の取組を推進するため、地元関係者との調整を踏まえ、適切な開放する施設の選定を進めている。

令和7年度以降の取組予定

地元関係者が希望するエリアでイベントを開催する予定。

港湾における釣り施設に関する事例（高知港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

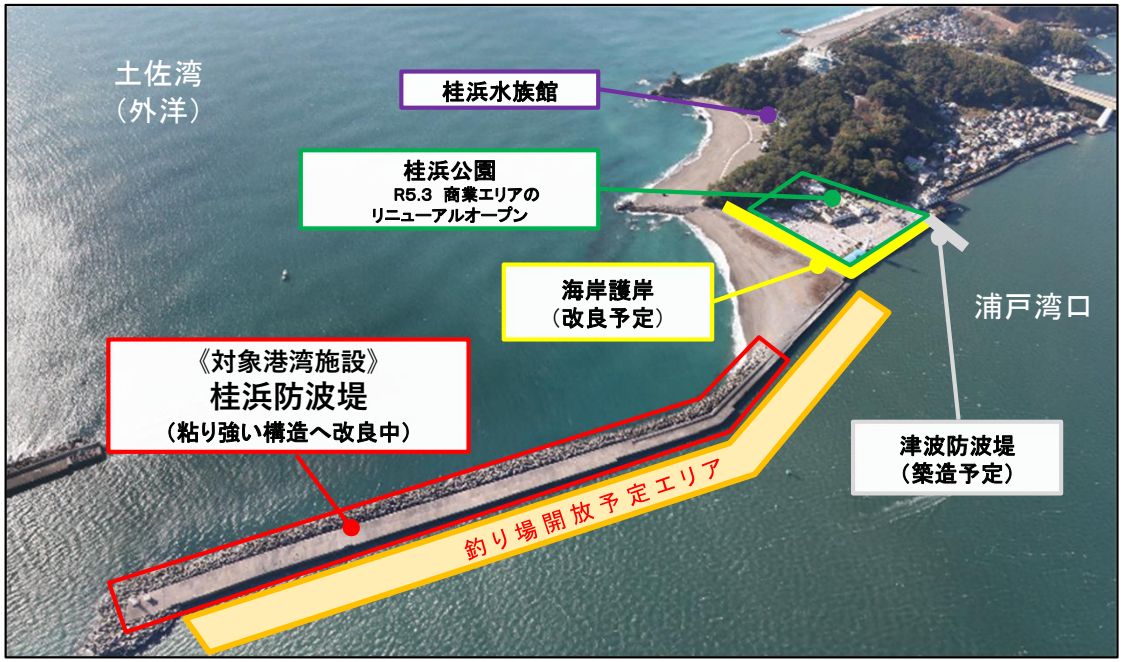
【基本情報】令和８年３月末現在	
港湾名	高知港【重要港湾】
協議会等	高知港の利活用等にかかる協議会
対象港湾施設	・桂浜防波堤（開放日未定） ・種崎防波堤（開放日未定）
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	高知県
釣り施設管理・運営者	－
施設利用料	－
運営時間	－
安全対策	－
利用者数（令和6年度実績）	－ 対象施設が南海トラフ地震津波対策工事実施中のため

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

●高知県屈指の観光地である桂浜に接続する「桂浜防波堤」について、釣り場開放に向けた検討を進めている。

●令和5年度は日本釣振興会高知県支部と桂浜水族館が連携して実施。ポンプ付き水槽を防波堤上に設置した屋外水族館や釣れた魚の生態・食べ方の解説など、水族館学芸員の参画によりイベントの盛り上げが行われている。

●今後も高知港及び桂浜公園一帯の特異性を活かした活動を展開していく予定。



- 平成30年度に、高知港湾・空港整備事務所から市・県に釣り場開放について提案。協議会を設立し、平成31年３月にモデル港に指定された。
- 令和4年度に協議会から釣りイベントの開催を提案。桂浜防波堤の釣果や安全対策、釣り人のニーズ把握や課題の掘り起こし等を目的として、令和4年度から日本釣振興会高知県支部主催の釣り大会を開催。
- 令和5年度は2回目の釣りイベントを実施。安全対策の拡充や催し企画の実施など、昨年度よりも充実した内容での実施を行った。
- 令和6年度は対象港湾施設が南海トラフ地震津波対策工事に本格着手したため釣りイベント開催を延期した。イベント再開は工事の進捗状況を踏まえ検討する。

港湾における釣り施設に関する事例（高知港）②

国土交通省

これまでの取組報告

平成31年３月のモデル港指定後、新型コロナウイルス感染拡大の影響により協議会の活動が中断していたが、令和４年度から再開し、高知港の釣り場開放に向けた検討(開放水準や安全対策等)を進めている。

第1回協議会

開催日： 令和４年７月14日（木）13:30～16:00
場　所： 桂浜防波堤（視察），三里文化会館（会議）参加者： 39名
委　員：【会長】黒笹慈幾(ｸﾛｻｻ ﾔｽｼ)南国生活技術研究所代表、高知カツオ県民会議、日本釣振興会高知県支部、高知ファズ(株)、高知県観光コンベンション協会、高知市旅館ホテル協同組合、高知県漁業協同組合、高知海上保安部、高知県警察本部、高知南警察署、高知市消防局、高知県土木部、高知県高知土木事務所、高知県産業振興推進高知市地域本部、高知市商工観光部、高知港湾・空港整備事務所

第2回協議会

開催日： 令和５年２月９日（木）14:00～15:10
場　所： 自由民権記念館
参加者： 22名
委　員： 日本釣振興会高知県支部、桂浜水族館、高知県漁業協同組合、高知海上保安部、高知南警察署、高知東警察署、高知市消防局、高知県土木部、高知県高知土木事務所、高知県産業振興推進高知市地域本部、高知市商工観光部、高知港湾・空港整備事務所

第3回協議会

開催日：令和６年２月８日（木）14:00～15:30　自由民権記念館
参加者：25名
委　員：南国生活技術研究所、日本釣振興会高知県支部、高知港運、高知県漁業協同組合、桂浜水族館、高知海上保安部、高知県警察本部、高知東警察署、高知市消防局、高知県土木部、高知県高知土木事務所、高知県産業振興推進高知市地域本部、高知市商工観光部、高知港湾・空港整備事務所

釣りイベント

（第１回釣りイベント）
開催日：令和４年11月６日（日）7:00～12:30頃
場　所：高知港 桂浜防波堤
主　催：公益財団法人日本釣振興会 高知県支部
参加者：110人（大人63人、子供47人）

（第２回釣りイベント）
開催日：令和５年11月19日（日）7:00～11:30頃
場　所：高知港 桂浜防波堤
主　催：公益財団法人日本釣振興会 高知県支部
協力団体：桂浜水族館
後　援：高知港の利活用等に係る協議会、高知県立坂本龍馬記念館
参加者：37人（大人26人、子ども11人）※荒天による順延開催

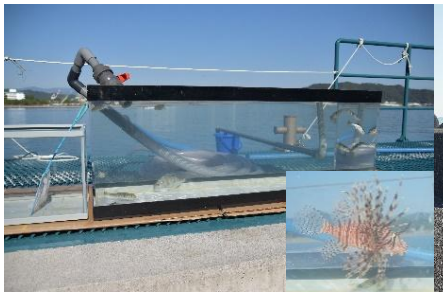
令和7年度以降の取組予定

- 協議会は年１回を予定。
- 協議会で出された意見等を踏まえ、安全対策やイベントコンテンツの企画等を行う。
- 釣りイベントの再開については南海トラフ地震津波対策工事の進捗状況を踏まえ検討する。
- イベントを盛り上げる取り組みの拡充を図るため、関係者との更なる連携策を検討する。

釣りイベント集合写真

釣りイベント実施状況

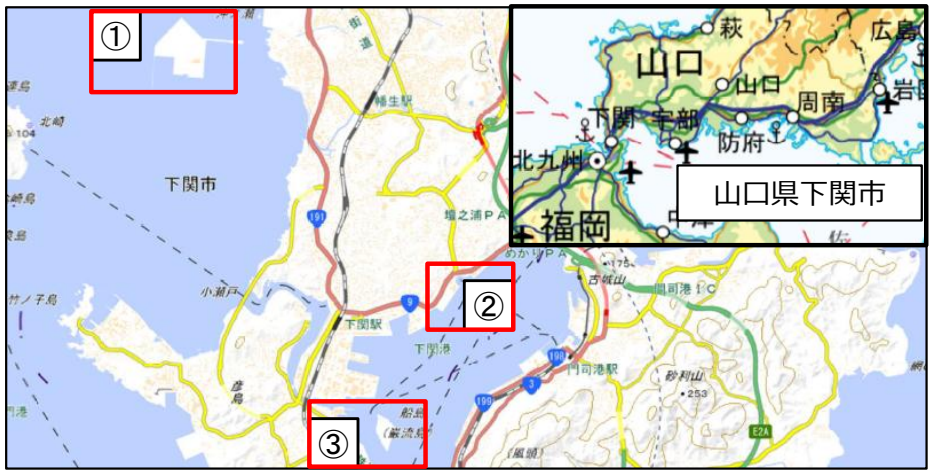
釣果


屋外企画実施状況

救命訓練実施状況

港湾における釣り施設に関する事例（下関港）①

国土交通省



国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	下関港
協議会等	下関港湾協会
対象港湾施設	• 新港地区（計画） • あるかぽーとエリア • 厳流島釣桟橋
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	下関市
釣り施設管理・運営者	下関市
施設利用料	無料
運営時間	常時
安全対策	浮輪、梯子など
利用者数（令和６年度実績）	―

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- あるかぽーとエリアは市街地となっており、釣り文化と街並みが一体化した景色が楽しめる。
- 厳流島釣桟橋は、観光名所としてもにぎわいを見せている。

①新港地区

②厳流島釣桟橋

③あるかぽーとエリア

- 各施設整備時点（②H4、③H16年）で開放。
- 新港地区については、安全対策や管理運営体制について議論していく。

港湾における釣り施設に関する事例（下関港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

・ 令和6年10月26日、公益財団法人日本釣振興会 九州地区支部・山口県支部共催 で、ファミリー釣り体験教室及びウマヅラハギ（3,000尾）の稚魚放流を実施。

・ ファミリー釣り体験教室には、市内の小中学生とその保護者約20組が、稚魚放流には約11組が参加した。

釣り体験教室集合写真

体験教室の様子

稚魚の紹介

放流の様子

令和7年度以降の取組予定

・巌流島釣桟橋、あるかぽーとエリアの継続的な開放。
・日本釣振興会が実施する稚魚放流への参加。

開放の様子（あるかぽーと）

港湾における釣り施設に関する事例（北九州港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】　令和８年３月末現在	
港湾名	北九州港【国際拠点港湾】
協議会等	北九州釣りいこか倶楽部
対象港湾施設	・大里２号物揚場
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	北九州市
釣り施設管理・運営者	北九州市
施設利用料	無料
運営時間	設定なし
安全対策	・救命浮環設置 ・ロープ設置 ・昇降階段 ・車両転落防止バリカー　等
利用者数（令和6年度実績）	年間300名（稼働日数365日）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 北九州市、釣り文化振興モデル港事務局（釣りいこか倶楽部）、遊漁船、飲食店、ホテル等が一体となった取り組み。

- 北九州市からの要望を受け、地域の賑わいづくり、北九州ならではの豊富で味覚絶品の水産資源と、玄海の豪快な釣りを地元の観光資源の目玉にしようと、2018/4/10北九州釣りいこかクラブ設立。2019/3/19釣り文化振興として認定。釣りいこか倶楽部所属の遊漁船の出船場として有効活用している。地元の小学生を対象に釣り教室や稚魚放流事業を定期的に開催。また釣りツアーご利用者には釣った魚を調理する飲食店をご案内している。

港湾における釣り施設に関する事例（北九州港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

募集参加型企画開催
ファミリー、小学生、初心者層を対象に9企画開催
計51組・102名が参加

【詳細】

3月 （地球の歩き方掲載企画） 4組12名
3月 （魚捌き方教室） 6組13名
5月 （アジ・シロギスリレー） 11組23名
8月 （夏休み企画：第1～3弾） 13組27名
9月 （関門テンヤ） 6組10名
10月 （落とし込み） 5組8名
11月 （ライト泳がせ） 6組9名

令和7年度以降の取組予定

・継続的な募集参加型企画の開催

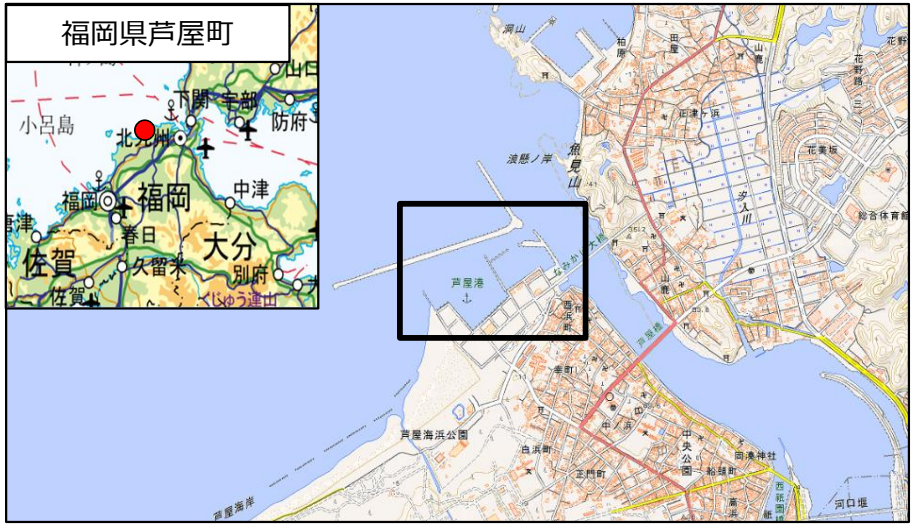
・女性限定の船釣り企画開催

・インバウンド企画の本格稼働
タイアップ企画・オリジナル企画
※実施目標：年3回

（イメージ）
女性限定釣り教室

港湾における釣り施設に関する事例（芦屋港）①

国土交通省



国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	芦屋港【地方港湾】
協議会等	芦屋港海釣施設運営協議会
対象港湾施設	魚釣施設
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	福岡県
釣り施設管理・運営者	－
施設利用料	－
運営時間	－
安全対策	－
利用者数（令和６年度実績）	－

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 波除堤に安全梯子や転落防止柵等の安全対策を行い、安全に釣りを行うことができる魚釣施設として整備を行った。
- 芦屋港活性化の一つの機能として、芦屋港ボートパーク管理事務所や駐車場整備後にプレジャーボート係留施設と一体となった活動を展開していく予定。

- 平成３１年３月に策定した芦屋港活性化基本計画に基づき、魚釣施設整備に関する検討を開始。
- 令和8年度中の施設開業を目指して、周辺整備を進めている。

安全対策（転落防止柵、救命浮環）

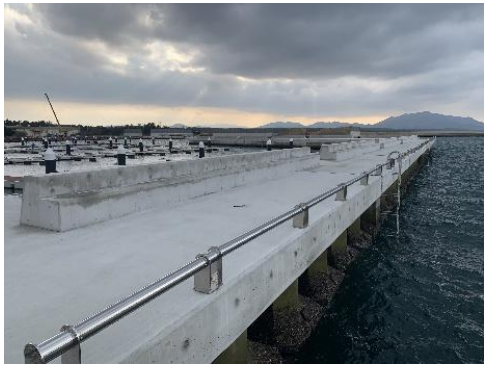
港湾における釣り施設に関する事例（芦屋港）②

国土交通省

令和7年度の取組報告

●「公益財団法人　日本釣振興会」協力のもと、地元小学生児童を対象とした稚魚放流を実施。カサゴの稚魚4,000匹を開業施設周辺の海に放流した。（令和7年9月12日）

●魚釣施設となる波除堤へ、転落防止柵や安全梯子等の設備整備を実施中。



●施設開放に向けた漁業従事者との協議実施
（漁業従事者からの理解、魚釣施設の管理運営のルール検討・釣りマナー看板文言検討等）

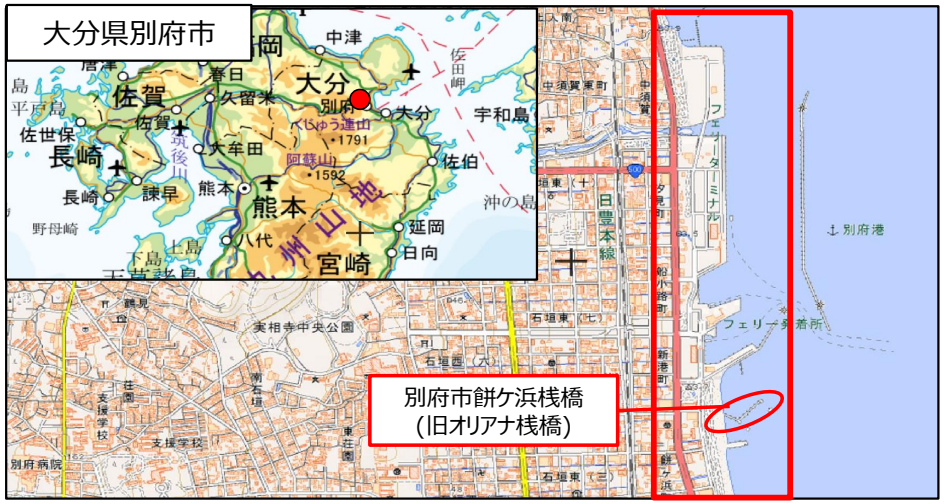
●施設管理・利用のルールの事例調査

令和8年度以降の取組予定

- 魚釣施設開業
- 釣りマナーの啓発
- 釣りマナー看板設置
- 漁業従事者との協議
（施設開放に向けた漁業従事者からの理解、魚釣施設の管理運営のルール検討）
- 稚魚放流

港湾における釣り施設に関する事例（別府港）①

国土交通省



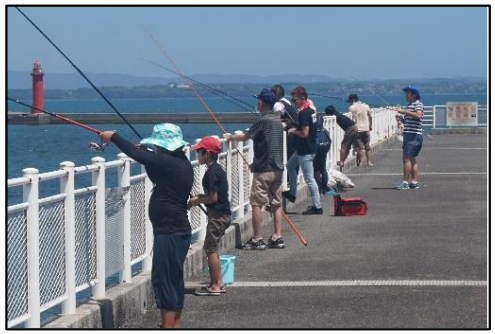
国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	別府港【重要港湾】
協議会等	別府国際観光港みなとまちづくり協議会
対象港湾施設	別府国際観光港及び別府市餅ケ浜桟橋（旧オリアナ桟橋）
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	大分県
釣り施設管理・運営者	別府市
施設利用料	一般開放（無料） ただし、使用する場合は22円/m2、占用する場合は37円/m2
運営時間	8:00～17:00
安全対策	・転落防止柵設置 ・救命浮環　大2基設置
利用者数（令和6年度実績）	－ (一般開放：稼働日数：365日)

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 地元中央商工連合会及び自治会を中心とした、地域の清掃活動とポートフェスタ開催時のマンパワーの協力を得て地域ぐるみで運営している。

- 餅ケ浜桟橋の一般開放を機会に、親子つり教室や大会をポートフェスタと共催し、餅が浜海浜の親水機能を図る。



別府ポートフェスタ釣り教室

港湾における釣り施設に関する事例（別府港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

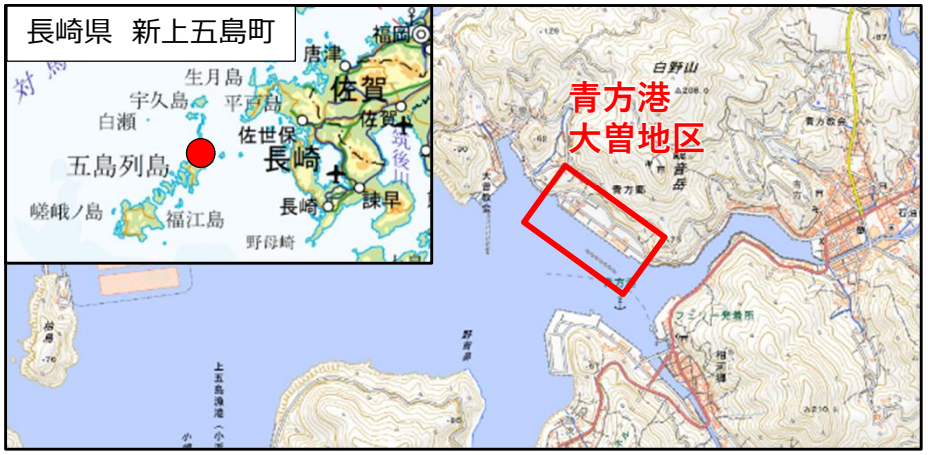
- 毎年、ポートフェスタと同時開催をメインにしていたため、天候に作用されやすいので、日釣振（大分支部）と協力して、適時開催することにした。
- 港湾整備（ゾーニング）事業の浚渫のため、釣りができる環境でなかったが、餅が浜桟橋を中心に主にビギナーを対象につりのマナーや海に対する幅広い知識の啓発を図った。
- また、境川港の天然釣り堀を県と市に要望しているところ。

令和7年度以降の取組予定

- 令和7年度は、ポートフェスタの開催時期とビーチバレー大会に合わせて開催することにしている。
- 日程は、毎年6月の総会で決定することになっている。
- 今回は、参加者へのノベティーと優勝景品（比較的高額）をアピールし、参加人数の拡大を図りたい。
- 継続している温泉×ワーケーション×釣りをミックスした湯治文化をさらに推進するため、前述のノベルティーを釣り文化啓発のシンボリックなものを協賛施設と創作することにしている。
- できれば、九州モデル港の共通デザインを検討したい。
- 隣接する温泉施設とネットワークして利用の拡大、シーズンレスのメニューの策定を検討する。
- 今年度も引き続き、境川港の「天然釣り堀」化に向けて活動する。

港湾における釣り施設に関する事例（青方港）①

国土交通省



国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和８年３月末現在	
港湾名	青方港
協議会等	五島楽釣上五島協議会
対象港湾施設	・大曽地区　防波堤(内)・大曽-4.5m岸壁・大曽-3.0m物揚場（令和4年10月8日開放）
モデル港指定日	令和2年8月3日
港湾管理者	長崎県
釣り施設管理・運営者	上五島町漁業協同組合
施設利用料（渡船代・保険料込）	釣具レンタル込：4,100円 (小学生：3800円) 釣具持参　　：2,000円
運営時間	9:00～17:00（4月～11月）
安全対策	・救命胴衣、救命浮環、縄梯子 ・昇降用浮桟橋 ・通行ライン、危険ライン表示　など
利用者数（令和7年度実績）	142人（稼働日数：17日）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 離島で全国初のモデル港指定
- 船で渡る沖防波堤として全国初の釣り場開放
- 誰でも手軽に利用可能（用具レンタル、釣り指導、後処理）

- 漁協による水産業と観光事業を組み合せた取り組み（漁師の朝飯）を10年以上継続中
- 上五島は釣りのメッカであり、初心者や観光客にも釣りを楽しんでもらえるよう、令和元年より協議会で議論を行い、令和4年に釣り場開放

景色の良い沖防波堤での釣り
（非日常体験）

港湾における釣り施設に関する事例（青方港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

■釣りイベントの開催（3回開催）

・令和6年度は3回のイベントを開催した。（4月：1回、10月：2回）

・地元テレビ局主催で開催したイベント（10月）には、年齢・性別問わず、大勢の参加者が集まった。当日はオオモンハタやコウイカなど、次々と釣果が上がっていた。

イベントの様子

■広報活動

・旅行雑誌「旅色」の中で俳優の尾野真千子さんによる青方港での釣りの紹介（令和6年7月号）

【出典先】https://tabiiro.jp/

■協議会の開催（予定）

・協議会を開催し、今後の広報活動の充実や島内外の観光事業者へのPRの検討を行う。

令和7年度以降の取組予定

・協議会開催

協議会の様子

・釣りイベントの開催

・地域の飲食店と連携した食事の提供体制の拡充に向けた検討

・宿泊と釣りのパッケージ化

・SNSによる釣果等の旬な情報の発信など

SNSイメージ

港湾における釣り施設に関する事例（比田勝港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和8年３月末現在	
港湾名	比田勝港
協議会等	比田勝釣りたいけん部会
対象港湾施設	・防波堤（A）、防波堤（B） 網代用地護岸（１） （令和８年上期開放予定）
モデル港指定日	令和6年8月7日
港湾管理者	長崎県
釣り施設管理・運営者	上対馬地区海業推進協議会
施設利用料 （渡船代・保険料込）	5,500円 （渡船・保険料・釣り具レンタル込）
運営時間	午前、午後　各２時間程度想定
安全対策	安全表示ライン 昇降筏・タラップ 落下時用昇降タラップ、救命浮環など
利用者数（令和7年度実績）	未開放 （試験開放にて５０名程度利用）

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 年間約20万人の訪日観光客が比田勝港から入国しており、全国初のインバウンドをターゲットに設置。

- 地元漁協や観光協会が主体に、『比田勝釣りたいけん部会』を設置し、今年度、釣り文化振興モデル港に指定。
- 今後は、運営要領等の検討を行い、令和8年上期（前年下期～試験開放）の本格開放に向けた準備を行う。

港湾における釣り施設に関する事例（比田勝港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

■釣り文化振興モデル港に指定
- ・6月18日　試験釣りの実施（約50匹の釣果／2H）
- ・8月7日　釣り文化振興モデル港に指定
- ・10月17日　指定証交付式

■先進地視察の実施

先進地である秋田港の視察及び運営内容について意見交換会を実施
- ・日時：11月24～25日、視察場所：秋田港（北防波堤）
- ・対応者：秋田港有効利活用協会

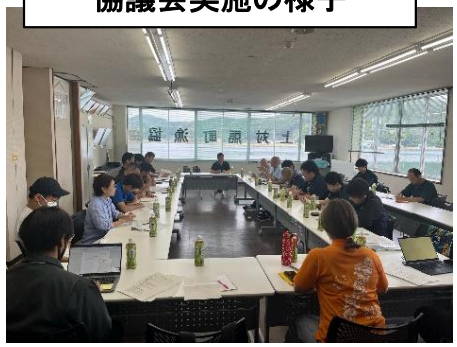
■協議会（６月、10月、12月、2月）の実施
- ・今後の運営形態及び安全対策の整備内容等の検討
- ・韓国旅行者の釣りニーズアンケート調査の実施

■日本釣振興会との意見交換
- ・2月17―18日に比田勝港にて意見交換会および試し釣り（約20匹の釣果／2H）を含めた、現地点検を実施

指定証交付式の様子

日本釣振興会との試し釣り釣果

協議会実施の様子



令和7年度以降の取組予定

■協議会の開催

全4回程度の開催を予定。
- ・運営基準
- ・安全体制
- ・収支計画
- ・魚の処理やお土産計画
- ・緊急時マニュアル　など

⇒釣り施設運営業務要綱の策定

■安全対策の実施
- ・危険表示ライン
- ・救命用具の設置
- ・昇降筏の製作、設置

■必要備品の購入

釣り具や備品倉庫など

■試験釣り大会の開催

下半期から複数回、比田勝港のPRや課題抽出を目的に釣り大会を実施予定

釣り場の本格開放
（令和8年度上期予定）

港湾における釣り施設に関する事例（志布志港）①

国土交通省

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成

【基本情報】 令和８年３月末現在	
港湾名	志布志港
協議会等	志布志港の利活用にかかる検討会
対象港湾施設	・防波堤（南）（開放日未定） ・護岸（開放日未定）
モデル港指定日	令和６年８月７日
港湾管理者	鹿児島県
釣り施設管理・運営者	－
施設利用料	－
運営時間	－
安全対策	・安全監視船 ・救命胴衣着用 ・救命浮環　等
利用者数（令和6年度実績）	70人（稼働日数：1日） ※釣りイベントの開催 ※荒天により途中中止

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 背後の道路整備に伴い、港への交通アクセスが向上。
- 地域の官民関係者が一体となった取組により、初心者や女性・家族連れも安心して釣りを楽しめる機会を創出。

- 港へのアクセス向上で釣り人が増加。港全体で危険な釣りやゴミの放置が課題となっていた。
- 令和6年2月に検討会を立ち上げ、安全対策やルールの検討を行い、同年9月に1日釣り開放イベントを開催。

釣りイベント開催時の様子

港湾における釣り施設に関する事例（志布志港）②

国土交通省

令和6年度の取組報告

- 令和６年９月22日（日）、「志布志港１日釣り開放DAY」を開催。（主催：志布志港の利活用にかかる検討会（事務局：志布志市））
- 普段は立入禁止されている施設（防波堤（南）、護岸）を開放し、市内外から家族連れなど約70名が参加。
- 当日は、（公財）日本釣振興会鹿児島県支部による釣り教室や軽食・ドリンク、釣具販売などを行った。

令和7年度以降の取組予定

- 検討会は1回以上/年を開催予定。
- １日釣り開放イベントは1回以上/年を開催予定。
- 釣りをきっかけとした観光ツアー造成や常時開放を想定した利活用策について検討する。